

県道雨引観音線について



中川泰幸 議員

問 林道整備費のうち、連絡道路として果たす役割と効果について伺う。

答 経済部長 事業予定地周辺には、希少動植物の生息情報があり、その一つが猛禽類のオオタカです。種の保存法に規定された種類であり、公共事業の実施について、保全対応が不可欠



県道雨引観音線

の種です。このようなことから、行動圏の調査及び営巣地調査、また繁殖状況調査等を本木地区と曾根地区で行う調査委託料費です。林道整備について、林道としての利用のみならず、大変重要な道路で、経済活動に大きく貢献するものと思っております。曾根地区と本木地区を結ぶ地域間連絡道路として交

流も活発になり、合併後の旧町村間の一体醸成にも非常に役立ちます。さらに、観光客流入の道路としても欠かせないものであり、交差人口の増大が期待できると思っています。今後、工事を行う上で各種調査等を実施しなければなりません。全線開通すべく鋭意努力をしていきたいと考えています。

小中学校の適正規模について



大塚秀喜 議員

問 桜川市立小中学校適正配置基本計画（案）によると、猿田小、谷貝小は廃校するしかないということだが、市長の考え方は。

答 教育長 基本計画に沿って適正規模を下回った学校について、これから保護者や地域住民の理解と協力を求めながら統廃合を進めていきたい。

問 少子化人口減少対策について
人口減少は、桜川市では新住民などを迎え入れる積極策が必要だと思おうが、

受け入れ態勢がまったくできていないがどのように考えているのか。

答 市長 排水路のふたなど基本的なインフラ整備や防災対策、医療や学童保育の充実などの環境整備を進めてきました。

問 私は、平成17年から同様の質問をしている。先日全員協議会で出たインター近辺の整備の話も非常にいいものだと思うが、既に岩瀬町のときにインターはあったのだから、合併前によってもいい話だと思

桜川市の発足で、すばらしいまちができると思っていた市民はたくさんいたはずだが、状況は悪化するばかりで全く結果が出ていない。こうなれば自分でやるしかないと思うので、本例会をもつて議員を辞職します。これから地域に入ってきたら、市長は今まで何をしてきたのか。

答 市長 これまで不十分だった情報化や耐震補強、国道50号の4車線延伸、電線地中化、中学生までの医療費無料化や学童保育の充実などをしてきました。高齢者のための地域づくりも、これから区長さんたちから要望を聞いていきます。

※大塚秀喜議員は、6月定例議会をもって辞職されました。

オール桜川の力で中核病院を



菊池伸浩 議員

問 中核病院建設をめぐっては、議会の意見が分かれていた（4回も否決）が、2月の全員協議会では、県の新提案（協和中央病院を含む3病院の統合・竹島にこだわらない）を受け入れる形で、病院建設協議に参加する方向で意見がまとまった。筑西市長も、考え方に違いがあることを認めただ上で、「有識者を入れて協議したい」と発言をしている。白田県議長は、「オール茨城で取り組んでいく」と発言をしている。ならば我々は、オール桜川の力で取り

組む必要があるのではないか。
答 市長 桜川市長・筑西市長・県の3者合意事項を基本として、議会とも一体となつて、筑西市にもご理解いただけるよう協議していきたい。

問 今年9月から学校給食の調理外部委託が始まるが、心配面・問題点はないのか。また、本当に安くなるのか、業者の選定はどのように行うのか。



南学校給食センター

答 教育部長 献立表の作成・食材購入は市の責任でやります。市発足当初（正規調理員職員比率75%）との比較では、外部委託のほうが安くはなりますが、現在（正規調理員職員比率28.57%）との比較では安くなりません。近隣の業者倒産の例もありますので、価格以外にも考慮できるプロポーザル方式が適当と考えています。

高齢者用肺炎球菌ワクチンの公費助成について



萩原剛志 議員

問 肺炎球菌感染による重症化を防ぐためにも、高齢者用肺炎球菌ワクチンの接種が有効と考える。県内市町村の助成の実施状況と費用は。

答 保健福祉部長 今年度で25市町村になる予定です。ワクチン接種料金の県内平均は7400円で、一部助成を3000円とした場合、桜川市の費用は、2340万円となります。

問 救急医療情報キット及び携帯ホルダーの無料配布
高齢者などのひとり暮らし世帯が増加し、救急時に駆けつけた救急隊員や搬送先の病院に病状や連絡先の情報が伝わらないケースが発生している。

答 市長 高齢者肺炎球菌ワクチンについては、前向きに考えていかなければならないと思っております。安全性を調査し、実施に向けて考えていきたい。

問 岩瀬駅入口付近の障害者等乗り降り専用停車スペースの設置
岩瀬駅の入口付近にタクシーが停車し、障害者や高齢者の駅利用の妨げになっている場合がある。障害者・高齢者乗り降り専用停車スペースを設置し、駅を利用しやすいように改善してはどうか。

答 保健福祉部長 適切な措置や搬送時間の短縮などができることから、今後導入に向けて検討し、ス

答 建設部長 障害者用乗降所を設置できるよう警察との協議を行うとともに、タクシー乗降所を利用している会社との調整を行い、協議が済みましたら、早急に設置したいと考えています。



救急医療情報キット